

社会学部教授 森田 雅也

餞(はなむけ)にはあまり使われない一字かも知れない。しかし、これから社会に出るみなさんには、人の痛みがわかる人間になってもらいたいと願い、この一字を贈ることとする。成果主義だ、格差社会だと言われる中で、ともすれば自分だけが良ければいいと考える人が増えているようだ。しかし、ともに手を携え、助け合うことなしに社会は成り立たない。人の痛みを想像し、配慮する心の広さと余裕を持ってこれからの人生を歩んでほしい。

痛